

北海道雄武高等学校

「学校紹介（特徴ある生徒活動紹介を含む）」

本校は1年22名、2年18名、3年24名の全校生徒64名の小さな学校である。ほとんどの生徒が町内の同じ中学校から進学してくるために、生徒間の人間関係ができあがっている。アットホームな学校であるが、中学校までの内向きな人間関係のまま卒業を迎えてしまう可能性がある。



そこで平成22年より【ピア・サポート】を導入し「新しい人間関係作りの方法」や「他人との話し方」「相手の感情を読み解く非言語コミュニケーション」などを3年生が講師役として年間を通じて1年生に指導する活動を行っている。これにより1年生は高校生としての態度や話し方を学び、3年生は上級生として自尊心を高め、他者に物事を伝えることの難しさとコミュニケーション力を学び直すことができる。2年生は【総合的な探究の時間】で町のPR動画を作成しパンフレットに掲載、それと町の特産品を袋詰めしたものを【見学旅行】で訪れる京都市のショッピングセンターで配布し、町のPRをすることで郷土を愛する心の醸成を行っている。

「PTA活動紹介（当該年度の事業活動計画等を含む）」及び「コロナ禍での取り組み」

令和4年度のPTA活動についてはほぼコロナ前とおなじ活動を行うことができるようになった。学校祭では例年行っているPTA主催の模擬店を実施した。感染症対策・食品衛生管理を徹底しながら調理と販売を行い、当日の対面調理販売はやめてすべて事前注文として、商品の受け渡しにおける三密を回避するために



クラス毎の受け渡し、個別梱包をした商品の受け渡す工夫をした。また2年ぶりに復活した地元のお祭りでは、感染症対策をして夜間巡視が復活した。今後、2年間途絶えていたPTA間の交流＝【PTAの集い】を予定しており、それについても感染症対策を徹底しながら実施をしていく。